



しぶたに学園

学習の手引き

令和3年度改訂版



しぶたに学園

池田市立秦野小学校

池田市立五月丘小学校

池田市立緑丘小学校

池田市立渋谷中学校



池田市立渋谷中学校

池田市立秦野小学校

池田市五月丘4-1-1

池田市畑1-1-1



しぶたに学園

池田市立五月丘小学校

池田市立緑丘小学校

池田市五月丘2-3-1

池田市緑丘2-5-12



小学校

池田市立渋谷中学校 名前



も く じ

はじめに _____ 2

保護者のみなさまへ _____ 3

小学校：「学習の約束」 _____ 4

しぶたに学園のみなさんへ _____ 5

学問のすゝめ～「自主学習」に取り組もう！～ _____ 6

小学校：1～6年生の各学年の学習について _____ 8

中学校：授業やテストについて _____ 20

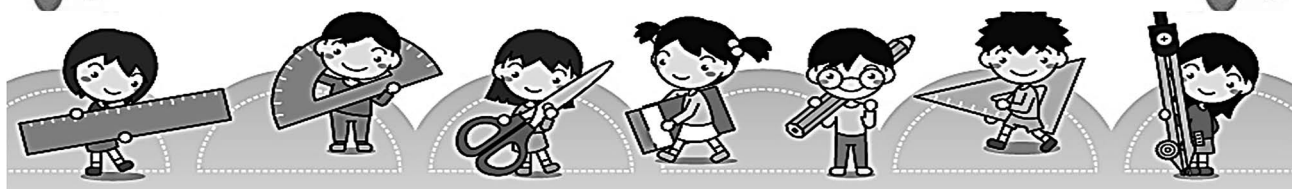
中学校：各教科の学習について _____ 21

【資料】

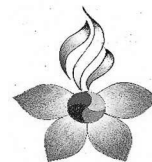
小学校学年別漢字配当表 _____ 30

小学校算数：6年間の学習内容 _____ 31

ローマ字表 _____ 32



はじめに



教育目標：「仲間とともにつながるしぶたにっ子～学びを・心を・夢を～」

めざす子ども像：● 自ら考え、ともに学ぶ子ども

● 心豊かで健やかな子ども

● 地域を愛し、夢と志にあふれる子ども の育成をめざす。

3小1中学校で構成されたしぶたに学園では、上記のように、子どもたちの9年間の育ちを見通した目標を立てています。

新型コロナウイルスの流行により、世界中の様々なものに大きな変化がありました。変化のはげしい時代になり、今の大人が子どもであった頃に「常識」としていたことが通用しないことが多く存在する社会になりました。今の子どもたちが大人になる頃にはどういった社会になっているのか、大人たちはよく考えながら接することが大切になりますし、子どもたちは自身で「人生をどう生きていくのか」をよく考え続けることが必要な社会になってきました。

そのために必要なものが「生きる力」です。学校は子どもたちにとって、こうした「生きる力」を育て、養う場でなくてはなりません。



また、「生きる力」を育て、養うには、学校や地域での取り組みに加え、家庭での学習のあり方が大切です。しかし、「家庭学習と言われても何をどのように学習するのかよくわからない」、「学習の具体的な内容や方法を教えてほしい」というお声があることもまた事実であるように思います。実際、子どもたちや保護者のみなさまからのご要望により、この冊子はしぶたに学園の小中学校の教職員によって共同で作成されました。子どもたちの発達段階やご家庭のニーズを考えた構成になっています。

学園としましては、こうした情報を共有することで、ご家庭と学校が連携し、子どもたちの「生きる力」を高める教育活動を充実させていきたいと考えています。この「学習の手引き」をお手元に置いていただき、是非ご活用ください。

保護者のみなさまへ

この冊子では、子どもたちの「生きる力」を育むための助けとなることを願い、具体的な家庭学習の方法について紹介させていただいています。

今日においても、昔ながらの漢字の書き取りや計算練習などの反復学習によって、基礎的・基本的な知識や技能を習得していくことは大切とされています。しかし、それ以上に、「知ったことやできることを深めるための思考力・判断力・表現力」や、「学び続けようとする主体的な態度」を身につけていくことも大切だとされています。

一般的に、学年が進むにつれ、学校から出された宿題だけではなく、自学自習に取り組み、自分に合った学習方法や課題の解決方法を見出すことが、学力の向上のために大切だとされています。授業で学習したことを指導者のいないところで復習し、できたりできなかったりしたことから、自身の課題やできることに気づくという新たな発見がそこにはあるからです。

家庭学習 = **自主学习** + **宿題** です。

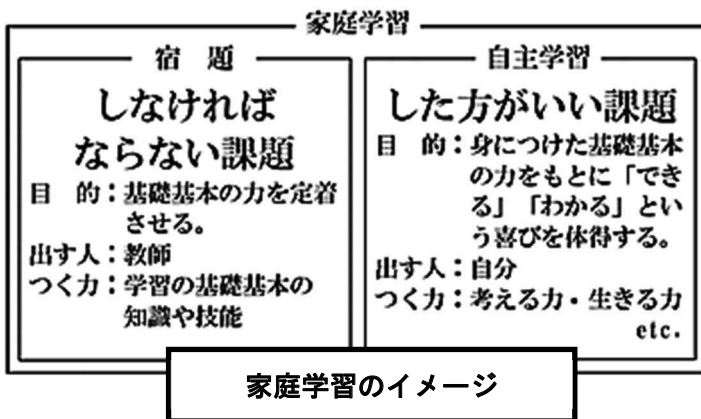
宿題が**基礎基本**のことがらを定着させるために学級担任や教科担任から「必ずしなければならない課題」として提示されているものであるのに対して、**自主学习**は「できる」「わかる」という喜びを体得するために、「自らの学習課題」を見つけて取り組むものです。

学校での学習に加えて、家庭学習を充実させることで、確かな学力が身につけやすくなり

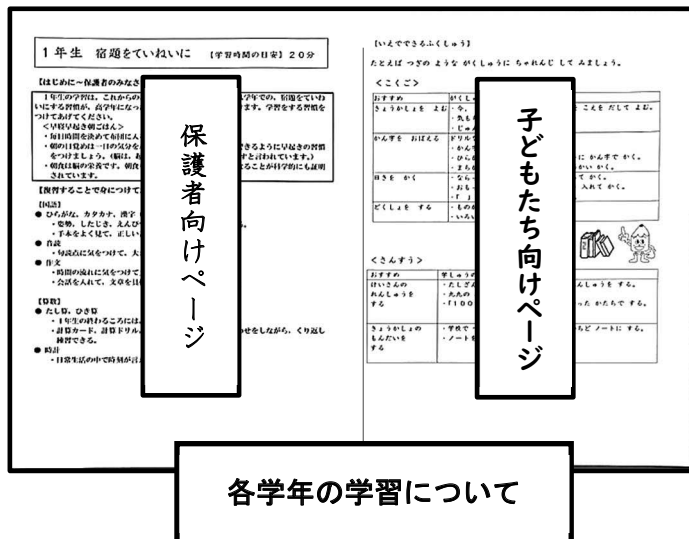
ります。さらに、自分で学習時間を作り出そうとする態度が、「思考力」や「表現力」だけでなく、見えない学力（「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」「課題解決力」となって、子どもたち自身の「生きる力」を高めます。

以上の考えから、しぶたに学園では**家庭学習**をおすすめさせて頂いています。今回の改訂版の6ページからは特に、**自主学习**の基本について取り上げさせて頂きました。また、8ページからは小学校の学習について各学年見開きで、左ページに保護者のみなさま向けのものを、右ページに子どもたち向けの復習の例をまとめさせて頂きました。これは長期休みの自由研究等でもお役に立つかと思えます。

必要になったときぜひ子どもたちと一緒に手にお取り頂ければと思います。



〈ページ構成〉



授業前 じゅぎょうまえ	準備 じゆん び び	きょうかしょ のーと ふてばこ した はじ せき 教科書、ノート、筆箱、下じきなどを始まるまでに用意しましょう。
		ちやいむ な きょうしつ せき チャイムが鳴れば、教室にもどって席にすわりましょう。 とくべつ きょうしつ ちやいむ な はい 特別教室には、チャイムが鳴るまでに入りましょう。
授業中 じゅぎょうちゆう	すわり方 かた	つくえ あいだ ぐー ぶん せ の あし ゆか 机とおなかの間をグー1つ分あけて、背すじを伸ばし、足を床につけてすわりましょう。
	手のあげ方 かた	て ゆび の ひじと指を伸ばして、手をあげましょう。
	話し方 かた	なまえ よ へんじ た 名前を呼ばれたら、はっきり「はい」と返事をして立ち、話しましょう。
		いちばんとお ひと き こえ はな 一番遠くの人に聞こえる声で、話しましょう。
		「です」「ます」をつけて話しましょう。
	聞き方 かた	はな ひと ほう む き 話している人の方を向いて聞きましょう。
はなし さいご き 話を最後まで聞きましょう。		
ノートの書き方 かた	した か 下じきをしいて書きましょう。	
	ひづけ か 日付、「めあて」を書きましょう。	
	じょうぎ つか せん ひ 定規を使って線を引きましょう。	
		「濃く」「ゆったり」「大きな字で」「ていねいに」書きましょう。
授業後 じゅぎょうご	かたづけ 準備 じゆん び	かたづけと、つぎ じゆん び やす じかん せき かたづけと、次の準備をしてから休み時間にしましょう。席をはなれるときは、いすを入れましょう。
家庭で かてい	次の日の準備 じゆん び	わすれ 物 を しな い よう に、まえ ひ じかんわり れんらくちよう み じゆん び 忘れ物をしないように、前の日に時間割・連絡帳を見て準備をしましょう。
	筆箱の中 なか	えんぴつを5本、赤えんぴつ、消しゴム、定規(15cmぐらい)、ネームペンを必ず入れておきましょう。
		まいにち いえ 毎日、家でえんぴつをけずってきましょう。
	家庭学習 かてい がくしゅう	がくしゅう ひつよう も 学習に必要なでないものは持ってこないようにしましょう。(シャーペン、あそびになるえんぴつや消しゴムなど)
じぶん すず しゅくだい じしゅ がくしゅう と く 自分から進んで、宿題や自主学習に取り組みましょう。		
じぶん すず しょく しょ と く 自分から進んで、読書に取り組みましょう。		
	がくしゅう すず てれび け 学習をするときは、テレビを消しましょう。	

学習するときの正しい姿勢は、グー！チョコキ！パー！



しぶたに学園のみなさんへ

「^{しゅくだい}宿題と^{じしゅがくしゅう}自主学习^{なに}って何がちがうの？」と、思ったことはありませんか。

「学校をはなれて学習する」ということ自体は、どちらも「家庭学習」と呼ばれるものですし、ちがいはありません。けれど、その意味は右のようになるでちがいます。

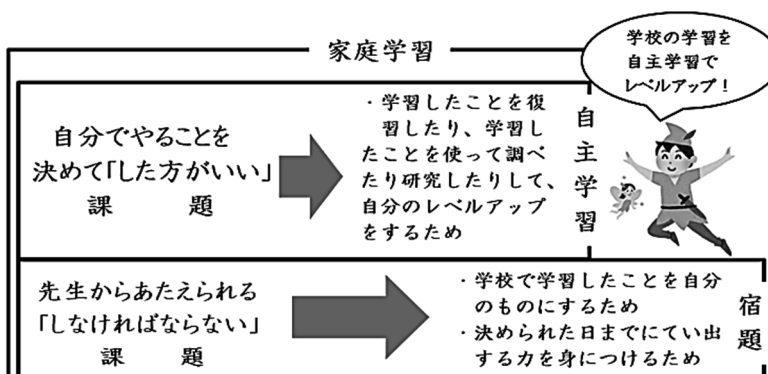
学習したことは、使わなければすぐに忘れてしまいます。何度も何度も忘れるたびに同じことをする……それって楽しいですか？

自主学习は、学校の学習で知ったり考えたりしたことを使って自分のペースで自分のものにできるチャンスです。実は学校の授業は、授業以外でどれだけのことができているかで、楽しさがレベルアップします。

一度、お家の人と下のチェック表を見て、自分自身が宿題と自主学习をどれだけできているか、たしかめてみてください。答え合わせで「合っているところとその数だけ見えている」とか、「なぜまちがえたかを考えていない」ということがないか等、新しい発見がきっとあると思います。そして、自主学习の具体的なやり方がわからなければ、次のページを開き、自分に合ったやり方をさがしてみてください。

この冊子が皆さんに役立つものであることを、先生たちは願っています。

【家庭学習できてる度チェック】



	自主学习のできてる度	学校の宿題のできてる度
低学年	<input type="checkbox"/> 宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。 <input type="checkbox"/> 少しずつ自分で答え合わせができる。	<input type="checkbox"/> 学校の宿題はていねいにできる。
中学年	<input type="checkbox"/> 宿題以外にも、自主的にテーマを設定して学習に取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 自分で答え合わせ（まちがいの検討）ができる。	<input type="checkbox"/> 学校の宿題は確実にできる。
高学年	<input type="checkbox"/> どんなことに取り組むかを考え、自らが「必要だ」と思うテーマで自主学习ができる。 <input type="checkbox"/> 自分で答え合わせ（まちがいの検討）ができる。	<input type="checkbox"/> 宿題の内容について、追加の課題や工夫を自分でできる。
中学校	<input type="checkbox"/> 自分の学習方法を確立することができる。 <input type="checkbox"/> どんなことに取り組むかを考え、必要だと思う自主学习ができる。 <input type="checkbox"/> 自ら興味をもったことについて、進んで調べて自分なりの考えをまとめることができる。	<input type="checkbox"/> 各教科の学習課題を仕上げる。

がくもん 学問のすゝめ～「自主学習」に取り組もう！～

「自主学習」は、「できる」「わかる」という喜びを体得するために、「自らの学習課題」を自分自身で見つけて取り組むものです。

けいかく た 計画を立てる。

- ◆「計画」の書き方 ◆
- ノートなどに、「めあて」と「取り組むことにした理由」を書く。
- 「めあて」を立てた理由をかじょう書きで短く書く。
- 「めあて」を達成するための方法を順番にかじょう書きにして書く。
- ※ 高学年以上は、「仮説（かせつ）」を立て、それにもとづいて考える。

と く 取り組むことを き 決める。

- したいこと、より深く考えたり知ったりしたいことの中から一番を決め、取り組むことを決める。

「わからない」ことを
「わかる」に。
「わかる」ことを
「より深くわかる」に。

けいかく 計画を

じっこう 実行する。

- 実行した自主学習のナンバー、実行した日付・時間を書く。
- 答え合わせがあるものについては、かならず自分でする。
- 学習を通して、
 - ・感じたこと
 - ・わかったこと
 - ・よかったこと
 - ・できたこと
 - ・今後調べたいこと等をかじょう書きなどにして書きとめていく。

ふりかえり，

つぎ 次にすることをさぐる。

- ◆ 振り返りのしかた ◆
- まちがえたり失敗したり、思っていたよりよい結果が出なかったりした理由を発見し、次のためのくふうを考えてまとめる。
- 学習の中で書きとめた、感じたこと、わかったこと、よかったこと、できたこと、今後調べたいこと…などを文や絵・図などをつかって、まとめて振り返る。

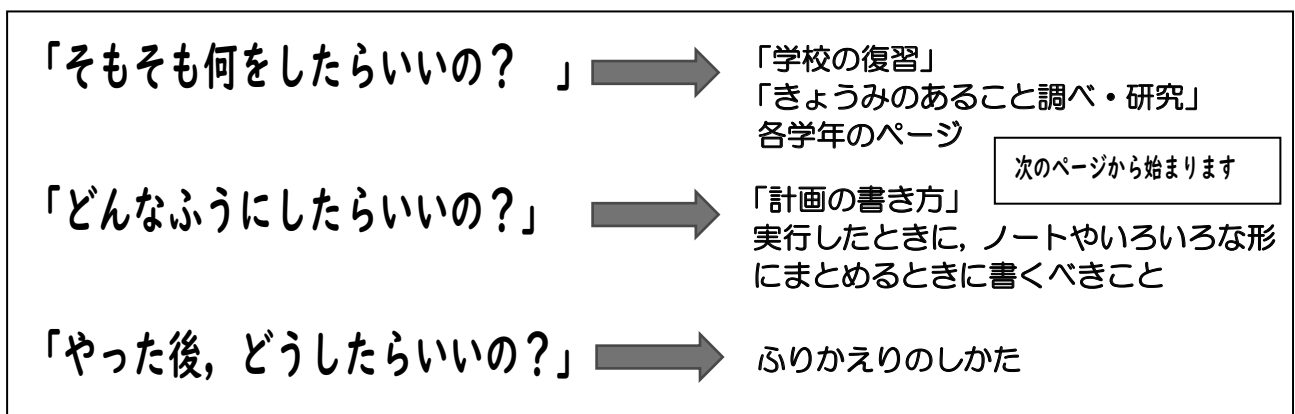
じしゅがくしゅう と く れい
自主学習で取り組むことの例

がっこう ふくしゅう 学校の復習	きょうみのあることしらべ けんきゅう きょうみのあること調べ・研究
<p>【小学校例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字練習 計算練習 書写 テスト勉強 図を描く練習 面積を求める練習 ローマ字練習 問題づくり 比、割合 <p>【中学校例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英単語の読み書き 文法の活用形 公式・法則の活用 歴史区分ごとの歴史の整理 …など。 	<ul style="list-style-type: none"> おすすめのものしょうかい 好きなもの良さのしょうかい うれしかったことのまとめ 学校の出来事のまとめ 料理 図かんしらべ 工作 習い事で学んだことについて 言葉やことわざについて 国や環境問題について 虫や動物や鳥の一生について 自由研究 マンガなどの作品と学習したことの関係について …など。



一言で「自主学習」と言っても、その中身はひとりひとりちがって当たり前です。そもそも、小学1年生と中学3年生では、できることがちがえば家に帰ってから学習に取り組める時間もちがいます。それに、きょうみを持つこと、とくいなこと、苦手なこともひとりひとりちがうでしょう。とくいなことをたくさんするのがとくいな人がいれば、苦手なことをがんばるのがとくいな人もいます。いろいろな「自主学習」の形があって当たり前なのです。

左の図は、そのいろいろな形がある「自主学習」の中の基本的な流れをあらわしたものです。何をしたらよいかわからなくなったとき、そのときは下の表を見てください。



もちろん、はじめから何でもできるものではありません。とくに、1・2年生の人にいきなり「きょうみのあることしらべ」をしよう、と言ってもおぼろしいかもしれません。

そこで、次のページから学年ごとに、学習についてまとめてみました。左のページはお家の人向けのページですが、まずはそこから始めてみるのもよいと思います。

1年生 宿題をていねいに【学習時間の目安】20分

【はじめに～保護者のみなさまへ～】

1年生の学習は、これからの基礎になるものばかりです。低学年での、宿題をていねいにする習慣が、高学年になったときの子どもの学習に生きてきます。学習をする習慣をつけてあげてください。

＜早寝早起き朝ごはん＞

- ・毎日時間を決めて布団に入るとよいでしょう。
- ・朝の目覚めは一日の気分を左右します。気持ちよく活動できるように早起きの習慣をつけましょう。（脳は、起きて2時間後に活発に働き出すとされています。）
- ・朝食は脳の栄養です。朝食を食べると脳の活動が活発になることが科学的にも証明されています。

【復習することで身につけておきたい力】



【国語】

- ひらがな，カタカナ，漢字（1年生で習う漢字80字）
 - ・姿勢，したじき，えんぴつの持ち方に気をつけて書ける。
 - ・手本をよく見て，正しい書き順で書くことができる。
- 音読
 - ・句読点に気をつけて，大きな声ですらすらと読める。
- 作文
 - ・時間の流れに気をつけて文章を書くことができる。
 - ・会話を入れて，文章を具体的に長く書くことができる。



【算数】

- たし算，ひき算
 - ・1年生が終わるころには，暗算ですらすら計算できる。
 - ・計算カード，計算ドリル，宿題プリントなどで答え合わせをしながら，くり返し練習できる。
- 時計
 - ・日常生活の中で時刻が言える。

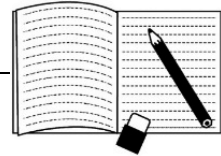


【いえでできるふくしゅう】



たとえば つぎの ような がくしゅうに ちゃれんじ して みましょう。

<こくご>



おすすめ	がくしゅうの しかた
きょうかしよを よむ ひらがな・ カタカナを かく	<ul style="list-style-type: none"> ・いま、べんきょうしているところを こえを だして よむ。 ・ならった じを かく。(かきじゅん、とめ、はね、はらいに きをつけて。) ・ならった じで ことばあつめをする。 ・ひらがなや カタカナで しりとりを しながら かく。
かんじを おぼえる	ドリルなどで <ul style="list-style-type: none"> ・かんじの ところを 3かい よむ。 ・ひらがなの ところを みて、ノートに かんじで かく。 ・まちがえた じは、ノートに れんしゅうする。
につきを かく	<ul style="list-style-type: none"> ・じゅんじょ よく かく。 ・した こと、みた ことなどを 入れて かく。 ・「は」「を」「へ」に きをつけて かく。

<さんすう>



おすすめ	がくしゅうの しかた
けいさんの れんしゅうを する	ドリルなどで <ul style="list-style-type: none"> ・ばんごうを かき、もんだいを ノートに うつつ。 ・しきや こたえを かく。 (いえの ひとに、まるをつけて もらっても いいです。) ・わからない ところは しるしをつけて、いえの ひとや せんせいに きく。
きょうかしよの もんだいを する	<ul style="list-style-type: none"> ・がっこうで した ところを もういちど ノートに する。 ・ノートを みて こたえあわせをする。 ・まちがえた ところは、もう いちど する。

2年生 家庭学習の定着を 【学習時間の目安】 20分

【はじめに～保護者のみなさまへ～】

2年生は、小学校生活にも慣れ、学習への姿勢を養う大切な時期であり、定着させるチャンスです。

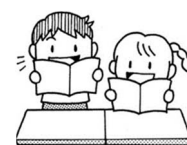
子どものやる気を起こさせるために、がんばったところを見つけて、しっかりとほめてあげてください。また、宿題や次の日の準備ができているかを見てあげてください。

【復習することで身につけておきたい力】

【国語】

● 漢字（2年生で習う漢字160字⇒1年生の2倍！）

- ・習った漢字をその日のうちに練習し、字の意味を理解することができる。
- ・指書きを何度も行うのも良い学習法。これまでに習った漢字を送りがなを含めて書ける。



● 音読

- ・くりかえし練習することで、はっきりと読める。
- ・会話文の読み方を工夫できる。

● 作文

- ・出来事や行動などを順序に沿って書くことができる。



【算数】

● たし算，ひき算

- ・2桁，3桁のくり上がりやくり下がりのある計算が的確にできる。
- ・教科書の習った問題を何度も解いたりすることで，式と文章との関係について理解できる。

● かけ算 九九

- ・「 $\bigcirc \times \triangle$ は， \bigcirc つのものが \triangle こ」を表しているという，かけ算のしくみがわかる。
- ・上がり九九，下がり九九，バラバラ九九など，さまざまなパターンで言うことができる。

● 単位

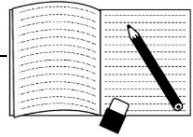
- ・時計，かさの単位，長さの単位が日常で使える。



【いえでできるふくしゅう】

たとえば、つぎの ような がくしゅうに チャレンジして みましょう。

<こくご>

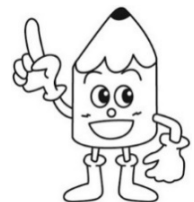


おすすめ	がくしゅうの しかた
きょうかしよを よむ	<ul style="list-style-type: none"> ・今 べんきょうしている ところを こえを だして よむ。 ・気持ち を こめて よむ。 ・じゅんじょに 気 を つけて よむ。
かん字を おぼえる	ドリルなどで <ul style="list-style-type: none"> ・かん字の ところを 3かい よむ。 ・ひらがなの ところを 見て、ノートに かん字で かく。 ・まちがえた ところを、ノートに 5かい かく。
日きを かく	<ul style="list-style-type: none"> ・ならった ことばや かん字を つかって かく。 ・おもった ことや、気づいた こと を 入れて かく。 ・「 」をつかって、かいわを かく。
どくしよを する	<ul style="list-style-type: none"> ・ものがたりを たくさん よむ。 ・いろいろな 本を よむ。

<さんすう>



おすすめ	がくしゅうの しかた
けいさんの れんしゅうを する	<ul style="list-style-type: none"> ・たしざんや ひきざんの ひっさんの れんしゅうを する。 ・九九の れんしゅうを する。 ・「100ます計算」などを じぶんに 合った かたちで する。
きょうかしよの もんだいを する	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で べんきょうした ところを もういちど ノートに する。 ・ノート を 見て こたえあわせを する。



3年生 家庭学習の量UP【学習時間の目安】40分

【はじめに～保護者のみなさまへ～】

《学習時間を増やすチャンスです！》

3年生は学習する漢字の量も増え、新しく理科、社会の学習も始まります。下のような学習を促してあげてください。

- ① 熟語や文で、何度も漢字を書く練習をする。
- ② ドリルや教科書の問題をもう一度解く。
- ③ 明日授業で習いそうなところを教科書で探して読む。



【復習することで身につけておきたい力】

【国語】

- 漢字（3年生で習う漢字200字）
 - ・正しい書き方で書ける。
 - ・辞書を用い、習った漢字を使って短文を作ることができる。
- ローマ字
 - ・50音や単語、短い文章がローマ字で書ける。
- 音読
 - ・声の大きさや、抑揚に気をつけて工夫して読める。
 - ・すらすらと読み間違いなく読める。
- 作文
 - ・長い文章が書ける。
 - ・読んだ本やニュースについての感想を自分なりに書くことができる。



【算数】

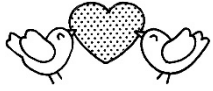

- 四則計算（たし算、ひき算、かけ算、わり算）
 - ・習った計算を間違いなくできる。
 - ・学習したことを図・式・言葉を使って、もう一度自分なりにまとめることができる。
 - ・自分で問題を作ることができる。
 - ・文章問題のイメージをもつことができる。
 - ・文章問題を解くだけでなく、絵や図で表すことができる。また、どうしてその計算になるのか、理由を考えることができる。



【家でできる復習】

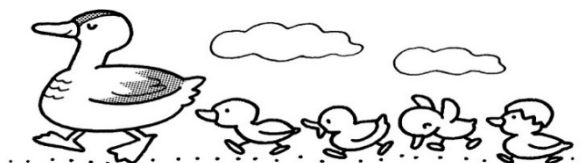
例えば、次のような家庭学習にチャレンジしてみましょう。

<国語>

おすすめ	学習のしかた
教科書を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・今学習しているところを音読する。 ・声の大きさ、読むはやさに気をつけて、内容を考えながら読む。
漢字をおぼえる	ドリルなどで <ul style="list-style-type: none"> ・漢字のところを声に出して読む。 ・ひらがなのところを見て、ノートに漢字で書く。 (とめ・はね・はらい、書きじゅんに気をつけてていねいに。) ・まちがえていた字は、おぼえるまでノートに書く。 ・部首や画数を調べる。 ・習った漢字を使って、短文を作る。 
ローマ字をおぼえる	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字で、身近な物の名前や短い文を書く。
意味調べをする	<ul style="list-style-type: none"> ・語句を写し、辞書で意味を調べる。 ・辞書の例文を写したり、短い文を作ったりする。
作文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・できごとやようす、気持ちをわかりやすく書く。 ・「はじめ・中・おわり」を意識して段落を作って書く。 ・習った言葉や漢字を使って書く。
し写をする	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文をていねいにノートに写す。 ・句読点やマスの使い方に気をつけて写す。 
読書をする	<ul style="list-style-type: none"> ・物語をたくさん読む。 ・いろいろな種類の本を読む。

<算数>

おすすめ	学習のしかた
計算の練習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算やわり算の筆算練習をする。 ・その日に学習したところや苦手なところの問題をもう一度練習する。 ・テストやプリントの問題をもう一度ノートにする。
復習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習したところを、もう一度ノートにする。 ・まちがえたときは、もう一度する。 ・数を変えて問題を作って取り組み、整理してまとめ直す。
予習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・次に学習するところをを考えて、教科書を読む。



4年生 復習を意識した家庭学習【学習時間の目安】50分

【はじめに～保護者のみなさまへ～】

《自主学習の重要性が増します！－自主的な学習態度を》

4年生の学習は抽象性も増し、難しくなってきます。学校で学習したものを、早いうちに復習することが重要になってきます。ドリルや教科書の問題を、再度解いたり、学習したことをノートにまとめ直したりする学習が効果的です。教科書やドリルなどのまとめの内容をていねいに見直すように、お声かけください。



【復習することで身につけておきたい力】

【国語】

- 漢字（4年生で習う漢字202字）
 - ・正しい書き方で何度も練習できる。
 - ・辞書を用い、習った漢字を使って短文を作ることができる。
- ローマ字
 - ・50音や単語、短い文章がローマ字で書ける。
- 音読
 - ・場面のようにすや人物の気持ちなどを考えて工夫して読める。
 - ・すらすらと読み間違いなく読める。
 - ・要旨や主題が何か、探しながら読める。
- 作文
 - ・長い文章が書ける。
 - ・読んだ本やニュースについての感想を自分なりに書くことができる。
 - ・学習した文の構成や表現の工夫を取り入れて書くことができる。





【算数】

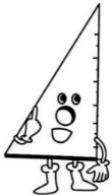
- 四則計算（たし算、ひき算、かけ算、わり算）
 - ・習った計算を間違いなくできる。
 - ・学習したことを、図・式・言葉を使って、もう一度自分なりにまとめ直すことができる。
 - ・自分で問題を作ることができる。
 - ・作った問題の解説を書ける。
 - ・文章問題のイメージをもつことができる。
 - ・文章問題を解くだけでなく、絵や図で表すことができる。
 - ・どうしてその計算になるのか、理由を考えてノートに書くことができる。
 - ・作図や文章問題など、時間のかかる問題にもじっくりチャレンジできる。




【家でできる復習】

例えば、次のような家庭学習にチャレンジしてみましょう。

〈国語〉	
おすすめ	学習のしかた
教科書を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・今学習しているところを音読する。 ・声の大きさ、読む速さに気をつけて、内容を考えながら読む。
漢字をおぼえる	ドリルなどで <ul style="list-style-type: none"> ・漢字のところを声に出して読む。 ・ひらがなのところを見て、ノートに漢字で書く。(とめ・はね・はらい、書きじゅんに気をつけていねいに。) ・まちがえていた字は、おぼえるまでノートに書く。 ・部首や画数を調べる。 ・習った漢字を使って、短文を作る。 
ローマ字をおぼえる	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字で、身近な物の名前や短い文を書く。
意味調べをする	<ul style="list-style-type: none"> ・語句を写し、辞書で意味を調べる。 ・辞書の例文を写したり、短い文を作ったりする。
作文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・できごとやようす、気持ちをわかりやすく書く。 ・「はじめ・中・おわり」を意識して段落を作って書く。 ・習った言葉や漢字を使って書く。
し写をする	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文をていねいにノートに写す。 ・句読点やマスの使い方に気をつけて写す。 
読書をする	<ul style="list-style-type: none"> ・物語をたくさん読む。 ・いろいろな種類の本を読む。

〈算数〉	
おすすめ	学習のしかた
計算の練習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算やわり算の筆算練習をする。 ・その日に学習したところや苦手なところの問題をもう一度練習する。 ・テストやプリントの問題をもう一度ノートにする。
復習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習したところを、もう一度ノートにする。 ・まちがえたときは、もう一度する。 ・数を変えて問題を作って取り組み、整理してまとめ直す。 
予習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・次に学習するところを考えて、教科書を読む。

ステップアップ！自主学习！！

- ① 学習したことをノートにまとめ直そう。大事なことが分かるようにまとめよう！見やすいノートを意識しよう！
 - ② わからないところや、「難しいな」と思うところを見つけよう！それを先生や友だちに聞けるようになろう！
 - ③ 次に学習しそうな内容を教科書で探して読もう！
 - ④ 社会や算数で覚えることが増えてくるので、先に少しずつ、覚えよう！
- 

5年生 発展させる家庭学習 【学習時間の目安】60分

【はじめに～保護者のみなさまへ～】

《計画的な自主学習を》

高学年では計画的に学習を進める習慣を身につけさせてください。限られた時間で集中して学習に取り組んでいるかどうか、お子さまの学習に取り組む姿勢に注目してください。

① 基礎学習

本読み，漢字学習，ローマ字練習，計算練習

② 苦手な学習

計算ドリル，教科書やノートでの復習

③ ことばの意味調べなどの予習

国語の辞書・辞典を使った予習

④ 社会・理科の予習・復習

授業や実験をまとめる。都道府県名，地図を覚える。

⑤ 自分が興味のあることを調べてまとめる。



【復習することで身につけておきたい力】

【国語】

● 漢字（5年生で習う漢字193字）

・習った漢字を使って，短文を作ることができる。

● ローマ字

・50音や単語，短い文章がローマ字（ヘボン式も）で書くことができる。

● 音読

・目的に応じて本や文章を選び，効果的な読み方を工夫できる。

● 作文

・主語，述語，修飾語などの関係に気をつけて文章を書くことができる。

・書き出しや会話文を入れるなど，工夫して文章を作ることができる。

【算数】

● 小数のかけ算とわり算

・小数点の位置を考え，正しく計算できる。

・四捨五入や概数もきちんと計算できる。

● 割合

・割合，百分率，歩合を理解し，日常生活で使える。

● 円

・円周を正しく求められる。

● 分数

・通分，約分ができる。



【家でできる復習】 例えば、次のような家庭学習に挑戦しましょう。

〈国語〉	
おすすめ	学習のしかた
教科書を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・今学習しているところを音読する。 ・声の大きさ、読むはやさに気をつけて、内容を考えながら読む。
漢字をおぼえる	ドリルなどで <ul style="list-style-type: none"> ・漢字のところを声に出して読む。 ・ひらがなのところを見て、ノートに漢字で書く（とめ・はね・はらい、書き順に気をつけて、ていねいに。） ・まちがえていた漢字は、覚えるまでノートに書く。 ・部首や画数を調べる。 ・習った漢字を使って、短文を作る。
ローマ字の復習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字（ヘボン式も）で、身近な物の名前や短い文を書く。
意味調べをする	<ul style="list-style-type: none"> ・語句を写し、辞書で意味を調べる。 ・辞書の例文を写したり、短い文を作ったりする。
作文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・できごとやようす、気持ちをわかりやすく書く。 ・「はじめ・中・おわり」を意識して段落を作って書く。 ・習った言葉や漢字を使って書く。
し写をする	<ul style="list-style-type: none"> ・詩や文章をノートに書き写す。 ・句読点やマスの使い方に気をつけて写す。
読書をする	<ul style="list-style-type: none"> ・物語をたくさん読む。 ・いろいろな種類の本を読む。



〈算数〉	
おすすめ	学習のしかた
計算の練習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・分数や小数の四則計算の筆算練習をする。 ・その日に学習したところや苦手なところの問題をもう一度練習する。 ・テストやプリントの問題をもう一度ノートにする。
復習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習したところを、もう一度ノートにする。 ・まちがえた問題は、もう一度する。 ・学習したことを、数を変えて、整理してまとめ直す。
予習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・次に学習するところの教科書を読む。



〈社会・理科〉	
おすすめ	学習のしかた
復習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習したところを、もう一度自分なりにノートにまとめる。（教科書を読み、大切なところに線を引く。） ・テスト前には、自分で問題を作ったり、友達と問題を出し合ったりして、いろいろな問題を解く。
予習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・次に学習するところの教科書を読む。



6年生 中学校において【学習時間の目安】60分

【はじめに～保護者のみなさまへ～】

《自主的な態度を養い，中学校に備える》

小学校での既習内容をきっちりと把握し，理解しておくことが中学校入学後に必要とされます。教科書やドリルなどのまとめの内容をていねいに見直すように，お声かけください。

① 各教科の問題集（市販）

答え合わせをして間違えたところは，なぜまちがえたのか，わかるようにやり直すことが大切です。



② 基本学習

本読み，漢字学習，ローマ字練習，計算練習など，毎日時間を決めて繰り返すことが重要です。

③ 苦手な学習

計算ドリル，教科書やノートを使って，苦手な分野の基礎的な内容の理解が大切です。

④ 各教科の予習・復習

国語辞典を使っての意味調べ学習（国語），計算練習（算数），歴史上の人物や出来事調べ（社会），実験の手順や結果のまとめ（理科）など，予習・復習にも取り組むとよいでしょう。

⑤ 自分の興味のあることを調べてまとめる。

長期の休みなどを利用して興味・関心のあることをレポートなどにまとめることで，学習内容についての理解が深まります。

【復習することで身につけておきたい力】

【国語】

● 漢字（6年生で習う漢字191字）

・習った漢字を文章の中で使える。

● ローマ字

・50音や単語，短い文章がローマ字（ヘボン式も）で書ける。

● 音読

・文章の思いや考えが相手に伝わるように音読や朗読ができる。

● 作文

・敬語，主語，述語，修飾語などの意味を理解し，文中で使える。
・かんたんな説明文や随筆を書くことができる。



【算数】

● 四則計算（たし算，ひき算，かけ算，わり算）

・特に分数の乗法や除法の意味を理解し，計算ができる。

● 比

・比の基本的な性質を理解し，その値を求めたり簡単にしたりすることができる。
・比を活用して問題を解くことができる。

● 図形

・いろいろな形の面積や体積を求めることができる。



【家でできる復習】 次のような家庭学習にも挑戦しましょう。



〈国語〉	
おすすめ	学習のしかた
教科書を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・今学習しているところを音読する。 ・内容や文のつながり（構成）に気をつけて読む。
漢字をおぼえる	ドリルなどで <ul style="list-style-type: none"> ・漢字のところを声に出して読む。 ・ひらがなのところを見て、ノートに漢字で書く。（とめ・はね・はらい・書き順に気をつけていねいに。） ・習った漢字を使って、短文を作る。
ローマ字の復習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字（ヘボン式も）で、身近な物の名前や短い文を書く。
意味調べをする	<ul style="list-style-type: none"> ・ことわざや四字熟語なども調べ、覚える。
作文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースや身の回りの事柄から、自分でテーマを決め、意見文を書く。 ・「はじめ・中・おわり」を意識して段落を作って書く。 ・書いた作文や日記を読みなおし、直したり、書き足したりする。
視写をする	<ul style="list-style-type: none"> ・文のかたまりごとを見て、一気にノートに書き写す。 （慣れてきたら、文のかたまりを少しずつ大きくしていく。）
読書をする	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読む。

〈算数〉	
おすすめ	学習のしかた
計算の練習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・分数や小数の四則計算の筆算練習をする。 ・その日に学習したところや苦手なところの問題をもう一度練習する。 ・テストやプリントの問題をもう一度ノートにする。
復習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習したところを、もう一度ノートにする。 ・まちがえたときは、もう一度する。 ・学習したことを、数を変えて、整理してまとめ直す。
予習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・次に学習するところを考えて、教科書を読む。



〈社会・理科〉	
おすすめ	学習のしかた
復習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習したところを、もう一度自分なりにノートにまとめる。（教科書を読み、大切なところに線を引く。） ・テスト前には、自分で問題を作って解いたり、友達と問題を出し合ったりする。
予習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・次に学習するところの教科書を読む。



中学校 授業やテストについて



《 授業について 》

中学校の授業は、教科ごとに先生が変わります。教科によって板書の仕方、ノートのまとめ方、宿題の出し方が異なります。各教科からのアドバイスは後のページに載せていますが、共通して大切なことをまとめましたので参考にしてください。

【授業時間】

小学校は45分授業でしたが、中学校では50分授業になります。

【チャイム着席】

渋谷中学校では、授業がスムーズに始められるように、チャイムが鳴る前には席に着いておくという「チャイム着席」を行っています。授業の準備をして、授業を受ける気持ちづくりをしておきましょう。

【提出物】

小学校では毎日指示する形で宿題が出ていましたが、中学校でも宿題が出されます。またテストの際には課題(ワークやノートなど)も出されます。計画的に取り組み、期日を守って提出する習慣を身につけましょう。

【忘れ物】

中学校では教科ごとにいろいろな準備物が必要になります。各教科の連絡事項を正しく把握してください。身の周りの整理整頓を心がけ、必要な教材や準備物や提出物は前日に用意する習慣を身につけましょう。

【ペアワークやグループワーク】

授業の中でペアやグループで活動をしたり、課題を解いたりする場面があります。協力して物事に取り組む力は社会に出ても必要になる力です。積極的に取り組んでください。



《 テストについて 》

小学校では、各教科で単元の学習が終わるたびにテストがありますが、中学校では中間テストや期末テストといった定期テストに変わります。自分の現時点での学力をはかる実力テストもあります。テストの回数は減りますが、テストの範囲が広がりますので、復習を中心としたテスト対策が必要となってきます。

【定期テスト】

- 国・社・数・理・英 → 1学期:中間・期末, 2学期:中間・期末, 3学期:学年末
→ 全ての定期テストで実施
- 音・美・技家・保体 → 3年生は年3回実施, 1・2年生は年2回実施

【その他のテスト】

- 〈整理テスト〉 → 夏休み明け:1・2年生実施
- 〈実力テスト〉 → 3年生実施(年4回)
- 〈チャレンジテスト〉 → 全学年実施(1・2年:1月, 3年:9月)
- 〈全国学力・学習状況調査〉 → 3年生実施(4月)



国語科



教科の特性

国語の学習は、日本語を正しく理解し、適切に表現する力をつけることをめざします。授業を通して、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養いながら、豊かな言語感覚を育てていきます。小学校で学習した内容を深めていきますので、中学校を卒業するまでに、次のようなことを目標にしてください。

- ・文章の内容を理解する。
- ・情報を集め、選択し、それらを参考に自らの考えをまとめて、相手にわかりやすく伝える。
- ・文章の読み取り、話し合いや他者の意見から自分の視野を広げ、考えを深める。
- ・読み手の心に響くような文章を正しい表記で、ていねいな文字で書くことができる。

* このような力をつけるためには、言葉に触れる機会を増やすことが必要です。国語力は、すぐに身につくものではありません。日々の努力の積み重ね、継続がいつか実を結びます。

中学校の学習内容

以下のような学習材を使い、「話すこと」・「聞くこと」・「読むこと」・「書くこと」の活動を通して、「言葉の力」を豊かにします。

- ・現代文（説明文や論説文）、小説、随筆などの近代文学
- ・漢文や古文などの古典文学
- ・詩、短歌、俳句などの韻文
- ・作文（感想文・意見文・批評文・鑑賞文など）
- ・書写（毛筆・硬筆）
- ・文法
- ・スピーチや発表など



家庭・日常生活で心がけてほしいこと（宿題・自主的な活動）

予習：教科書の音読，黙読，語句（意味）調べをして，次の学習内容を把握しておきましょう。

復習：教科書の音読，黙読（内容の把握），漢字練習，文法の練習問題，ノート作り（授業で学習したことを自分がわかりやすいようにまとめる），ワークシートの見直し，プリントやテスト問題の整理（繰り返し見直して，有効活用する）など，既習内容の定着に努めてください。

その他：本，新聞を読む。新出単語を使った短文を書く。テストのやり直しをする。視写（教科書や有名な文学作品，新聞の社説など）をする。知らない言葉を見つけたときは，そのままにせず，どんな意味の言葉なのかを調べる。

* 上記のような学習を毎日20分でもかまいませんから，継続して行うことが大切です。

社会科



教科の特性

中学校の社会科は「地理」「歴史」「公民」の3つの分野を勉強します。

地理・・・世界や日本のいろいろな地域の地形・気候・産業・文化などを学びます。



歴史・・・日本の歴史を中心に学びます。

公民・・・日本の政治と経済，社会のしくみについてくわしく学びます。



中学校の学習内容

	地 理	歴 史	公 民
1 年生	世界の姿 世界各地の人々の生活と環境 世界の諸地域 世界の様々な地域の調査	歴史のとらえ方と調べ方 古代国家の成立と東アジア 武家政権の成長と東アジア	
2 年生	日本の姿 世界から見た日本の姿 日本の諸地域 身近な地域の調査	武家政権の展開と世界の動き 近代国家の歩みと国際社会	
3 年生		二度の世界大戦と日本 現在に続く日本と世界	現代社会と私たちの生活 個人の尊重と日本国憲法 現代の民主政治と社会 私たちの暮らしと経済 地球社会と私たち

家庭・日常生活で心がけてほしいこと (宿題・自主的な活動)

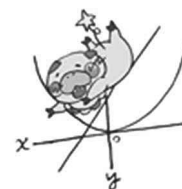


- ① 日々の授業を大切にしましょう!
- ② 授業で学習した内容をしっかり復習しましょう!
- ③ なぜそうなったのかなど，しっかりと整理してから覚えるという習慣をつけましょう!

1 年生になる前に

- ① 日本の都道府県名と県庁所在地を覚えておきましょう。また，自分で資料やグラフを作成してみましょう。
- ② 日本の歴史の大まかな流れ(縄文時代→弥生時代→古墳時代→・・・)と，それぞれの時代の特徴や重要人物を覚えておきましょう。
- ③ 新聞やテレビなどで，ニュースに関心をもっておきましょう。

数 学 科



教科の特性

数学科では、数学的な知識と技能を基に、まだ見ぬ知らない世界(たとえば深海や宇宙、日常では体験できないこと)を論理的に推測し考える力をつけることをめざします。人が生きていく上で起こる様々な問題を解決するためには「想像力」「発想力」「論理的な思考力」が必要です。社会に出ると、どのように人やモノが動くのかを予測することが求められます。たとえば会社で新しい商品を開発し、製造、販売して利益を出すためには想像力や発想力が必要です。このような力を磨くために、数学はとても役立ちます。中学校の数学は、小学校で学んだ算数の積み重ねの上に立って、物事を順序だてて考える力をつけていきます。



中学校の学習内容

	1 年	2 年	3 年
三年間の学習内容	1 正負の数	1 式の計算	1 多項式
	2 文字と式	2 連立方程式	2 平方根
	3 方程式	3 1次関数	3 2次方程式
	4 比例と反比例	4 平行と合同	4 関数 $y=ax^2$
	5 平面図形	5 三角形と四角形	5 相似な図形
	6 空間図形	6 確率	6 円
	7 データの分析と活用	7 データの比較	7 三平方の定理
			8 標本調査

家庭・日常生活で心がけてほしいこと(宿題・自主的な活動)

- ① 中学校では、小学校で学習した内容を基礎として、その上に学習を積み重ねていきます。小学校で学習した四則(足し算, 引き算, 掛け算, 割り算:小数・分数の両方)がきちんとできるようにしておきましょう。
- ② 復習がとても大切なので、授業で学んだ内容を教科書や問題集などを活用して自分で解いてみましょう。
- ③ わからないところをそのままにせず、必ずわかるようにしておきましょう。先生や友達や家族に聞くのもいい方法です。間違えた問題をもう一度やってみるようにしましょう。
- ④ 提出物は期限を守って必ず提出しましょう。そのためには、普段から計画的に取り組みましょう。
- ⑤ どのように計算をした(考えた)のか、消さずに残しておく、あとで復習するときに役立ちます。
- ⑥ 問題を解く過程を大切にしましょう。なぜその答えになったのか、自分のことばで説明できるようにしましょう。方法は一つとは限りません。先生や友達の解き方も参考にして別の解き方を身につけることも勉強になります。

理 科



教科の特性

自然の事物・現象を学習する教科です。

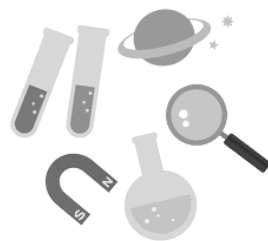
「なぜ、夏は洗濯物が早く乾くのか」、「なぜ、ホットケーキがふくらむの」、「なぜ、地震が起こるの」、「なぜ、血が赤いの」など、生活の中にある「なぜ?」、「どうして?」を見つけ出すことが大切です。日常生活にある多くの「なぜ」を、実験・観察を通して、解き明かし、科学的に考えていきます。

中学校の学習内容

	物 質 (化学分野)	エネルギー (物理分野)	生 命 (生物分野)	地 球 (地学分野)
1 年生	身のまわりの物質	光・音・力による現象	いろいろな生物とその共通点	活着ている地球
2 年生	化学変化と原子・分子	電 流とその利用	生物の体のつくりとはたらき	地球の大気と天気の変化
3 年生	化学変化とイオン	運動とエネルギー	生命の連続性	宇宙を観る環境と人間

家庭・日常生活で心がけてほしいこと(宿題・自主的な活動)

- ① 身のまわりにある「なぜ」を多く探しましょう。
その「なぜ」について、自分の考えをまとめてみましょう。
- ② 日々の授業を大切にしましょう。
- ③ 授業のノートやプリント類を見直し、復習してみましょう。
- ④ 教科書を読んでみましょう。
- ⑤ 自分のノートを用意して、授業の内容を振り返り、整理してみましょう。
図や表などを使うことで、わかりやすく、覚えやすくなります。
- ⑥ 問題集などで問題を解いてみましょう。



音楽科



教科の特性

音を楽しみ、音楽の美しさやよさを感じる心を育てる教科です。楽器を演奏したり、歌ったり、曲をつくったりします。自分なりに一生懸命取り組む姿勢が大切です。周りの人やクラスのみなどと協力して、音楽を楽しんでいきましょう。

中学校の学習内容

- 歌唱… どうすれば曲に合った歌い方になるかを考えながら何度も歌い合わせていきます。また、友だちとお互いの声を聴き合い、協力して曲をつくりあげます。学年で合唱コンクールを開催し、クラス合唱の成果を発表することもあります。
- 創作… 曲をつくるための技能や知識は、普段の授業の中で得ることができます。短いリズムや旋律づくりからスタートするので、楽しくつくることができます。
- 器楽… グループで教え合いながら、表したいイメージをアルトリコーダーや和楽器の合奏、独奏などで表現します。
- 鑑賞… 日本から世界まで、その曲をつくった人や時代などを学習し、幅広く音楽を聴きます。曲の構造や楽器の音色を聴き取ったり、作曲者の思いを考えたりして、曲を紹介する文章を書きます。
- 実技テスト… 授業で歌ったり、演奏した曲を発表したりして、お互いの頑張りを認め合い、聴き合います。

家庭・日常生活で心がけてほしいこと(宿題・自主的な活動)

1年生になる前に

- ・ 小学校で学習した音符や記号を復習しておきましょう。
- ・ ト音記号の階名は読めるようにしておきましょう。



家庭学習

生活の中には様々な音があふれています。木の葉がふれあう音、鳥のさえずり、川の水が流れる音、雨の降る音、テレビから聞こえる音、映画で使われる音…、いろいろな音に耳を傾けてください。興味をもって、音楽にふれる機会を増やしましょう。

美術科



教科の特性

中学校の美術は、絵画、立体、デザインなどの分野を学びます。どの分野においても、「対象をよく観察し、形や色合いを感じ取ること」から始まり、自分の考えたこと、感じたことを表現していきます。

美術での表現とは、自分の考えや感じたことを形や色彩などを工夫して伝えることです。写実的な作品が鑑賞者によく伝わるかと言えばそうではありません。対象と向かい合い、作品について自分なりに深く考えをめぐらせていくことが、大切になります。作品づくりを通して、自分自身、自然、美しいものについて、再発見できるようになれば、人生はきっと豊かになると思います。

中学校の学習内容

表現… 絵画・彫刻・デザイン・工芸など、感じたり考えたことから発想したり、材料や用具を活かして作品をつくります。

鑑賞… 日本から世界まで、その作品をつくった人や時代などを学習し、幅広く鑑賞します。また、自分たちがつくった作品の鑑賞もします。作品の見方は自由なので、自分の感じたことを大切にしましょう。

家庭・日常生活で心がけてほしいこと(宿題・自主的な活動)

1年生になる前に

- ① 身近にあるデザインされたもの、自分が心惹かれた文房具や商品のパッケージなどをよく観察する。
- ② 美術品に親しむ機会があれば、大事にする。(旅行先で出会った工芸品や絵画など。)
- ③ 自然や身近なものに対して、美しさを見出す。



学習のアドバイス

- ☆ 授業の約束事
 - ・ 準備物を忘れない。
 - ・ 授業中は集中して制作をする。
 - ☆ 作品制作の心構え
 - ・ 与えられた時間で制作をする。たとえば、画面をすべて塗れたから作品完成ではなく、時間があるなら「どうすればもっと良い作品になるか」を考えて、工夫をし続けること。
- * 中学校では、ポスターカラーという絵の具を使用します。ポスターカラーは、ポスターなどの制作で使用するとムラなく塗ることができ、完成度が上がります。

家庭学習

- ① 授業で使った道具の手入れをしておきましょう。
- ② 家庭で絵やカットを描いてみましょう。
- ③ 機会があれば、美術館や展覧会に行き、美術作品や文化遺産などを鑑賞しましょう。

保健体育科

教科の特性

小学校では、「体育」という教科でしたが、中学校では、「保健体育」という名前に変わり、「保健」と「体育」の2つの分野を学習する時間になります。「保健」は、教室で心や体の変化、運動や健康・安全についての知識を深め、「体育」は、保健で学んだ知識を活かし、様々な運動やスポーツを通じて、健康の促進と体力の向上をめざします。

中学校の学習内容

保 健	体 育
心身の発達と心の健康	体づくり運動(ストレッチ, トレーニングなど)
健康と環境	器械運動(マット運動, 跳び箱など)
傷害の防止	陸上競技(ハードル走, 走り幅跳びなど)
健康な生活と病気の予防	水泳(クロール, 平泳ぎ, 背泳ぎなど)
	球技(サッカー, バasketボール, バレーボールなど)
	武道(柔道) ダンス(現代的なリズムのダンスなど)

家庭・日常生活で心がけてほしいこと

1年生になる前に

- ① 食事, 睡眠を十分にとり, 規則正しい生活を送りましょう。
- ② 体を動かすことを好きになり, 多くのスポーツを観戦しましょう。



学習のアドバイス

- ① きちんとした「あいさつ」をする!
- ② 正しい服装, 態度で授業を受ける!
- ③ 忘れ物をしないように!
- ④ 先生の話をしっかり聞け!
- ⑤ 体育が苦手な人も安心して学べる内容なので, 主体的に参加する!



* 上記のような約束ごとや規律を守り, 安全に気をつけて積極的に体を動かすことで体力も向上し, 運動を楽しむことができます。

家庭学習

年に2回, 筆記テストがあります。授業で学習した内容の確認テストです。授業で学習したことや教科書の内容をしっかりと復習しましょう。

その他

★ 運動委員: 集合や整列, 準備運動, あいさつなどは運動委員が中心となって行います。授業をスムーズに進めていくために, 積極的で責任ある行動をとることが大切です。自分勝手な行動をとらずに, 一人ひとりが協力して行動していきましょう。

技術・家庭科



教科の特性

技術分野について

私たちは毎日、多くの人とともに生活しています。長い人間の歴史の中で、豊かで楽しく心地よい生活をするために、人との関わり方や暮らし方の知恵が生まれ、生活が工夫されてきました。

この教科では、よりよい生活をするために、生活に必要な知識や技術を習得し、これからの生活を展望して課題を解決する方法を学びます。生活に活かすためには、知るだけでなく、実際に手や体を動かして体験することも必要です。これらの学習を通して、生活を工夫し、創造できるようになることがこの教科の目標です。

中学校では、木材や金属を使った作品の製作、電気やコンピューターについての学習を行っています。

家庭分野について

毎日生きていくために、食べ物、住むところ、衣服など、なくてはならないものがあります。私たちは、命を維持し、少しでも豊かに暮らしていくために、様々に創意工夫しながら生活をしています。

家庭分野の学習では、私たちが生活をしていくために必要な知識や技術を学習します。自分でどうすれば良いかを考え、実践し、自分ができることを増やしていくこと、周りの人と協力することが大切です。自立と共生をめざして学んでいきましょう。

中学校では、食生活や衣生活、住生活などについての学習をします。そのなかで調理実習や被服実習などもあります。小学校で作ったエプロンは中学校でも使います。また、裁縫セットは引き続き使いますので、大切に保管してください。

技術分野

- 1年・・・木材加工
- 2年・・・金属加工, 電気
- 3年・・・電気, 情報



家庭分野

- 1年・・・衣生活
- 2年・・・食生活
- 3年・・・保育・消費生活

家庭・日常生活で心がけてほしいこと(宿題・自主的な活動)

- ① いろいろなものに興味をもってください。
- ② 宿題や提出物は、期限を守って提出しましょう。





教科の特性

【英語を学ぶとこんなことができる!】

① 多くの人とコミュニケーションができるようになる。

世界で英語を使っている人は約15億人います。また、インターネットを使用している人が40億人いるのですが、そのうち10億人が英語を使っています。日本には毎年多くの外国の人が旅行でやってきます。そして、外国にルーツを持つ人も多く日本に暮らしています。英語を学習することで、英語を共通語として多くの人たちとコミュニケーションがとれるようになるのです。

② 映画のセリフや洋楽の歌詞の意味、外国のスポーツ選手や有名人のセリフがわかる。

自分の好きな映画のセリフやお気に入りの洋楽の歌詞の意味を理解することができます。また、自分の憧れのスポーツ選手や有名人の話している内容がわかるようになり、その人のことをもっと知れるようになります。

③ 日本のことを改めて学ぶことができる。

英語ができるようになると、日本語と英語を比較して考えることができます。英語にはない日本語特有の表現の素晴らしさに気づくこともあります。外国の人たちと日本について話し合うこともでき、外から見た日本の文化に気づくこともできるのです。

④ 物事を違う視点で考えることができる。

私たちは普段日本語を通して、物事を考えています。英語を学習すると、英語を通じて物事を考えられるようになり、より広い視点をもつことができるようになります。

中学校の学習内容

- ◆ 単語や文法、表現などの基礎的な学習をする。
- ◆ 基礎的な学習をふまえて英文を聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。
- ◆ 自分自身のことについて、スピーチする。
- ◆ ある場面のやりとりをペアやグループで英語を使って、発表する。
- ◆ 世界で起きている様々な問題について、学習し考える。



家庭・日常生活で心がけてほしいこと(宿題・自主的な活動)

英語の学習はまず基礎・基本です。授業で習った単語や文法を復習し、できるだけたくさん覚えることが大切です。以下のやり方を参考に自分に合った学習方法を見つけてみましょう。学習方法がわからないときは、担当の先生に聞いてみてください。

【英単語の学習方法】

- ・単語については「発音できる」→「意味がわかる」→「日本語を見て書ける」のステップで勉強していきましょう。

【文法や表現の学習方法】

- ・授業で学習した文法や表現を含む文は、日本語訳を見て英語で書けるようにしましょう。
- ・教科書やワークにでてくる文法や表現の問題は、繰り返し解いてみましょう。

【音読】

- ・教科書にある QR コードを読み取ると、家で教科書の音声を聞くことができます。授業で学習した英文の音声を聞き、音声のマネをして音読してみましょう。



資料【小学校学年別漢字配当表】

第一学年	一 三 千 木	右 山 川 本	兩 子 先 名	円 四 早 目	王 糸 草 立	音 字 足 力	下 耳 村 林	火 七 大 六	花 車 男	貝 手 竹	学 十 中	氣 出 虫	九 女 町	休 小 天	玉 上 田	金 森 土	空 人 二	月 水 日	犬 正 入	見 生 年	五 青 白	口 夕 八	校 石 百	左 赤 文
第二学年	引 記 光 社 前 東 每	羽 歸 考 弱 組 答 妹	雲 弓 行 首 走 頭 万	團 牛 高 秋 多 同 明	遠 魚 黃 週 太 道 鳴	何 京 合 春 體 誦 毛	科 強 谷 書 台 內 門	夏 教 國 少 地 南 夜	家 近 黑 場 池 肉 野	歌 兄 今 色 知 馬 友	画 形 才 食 茶 壳 用	回 計 細 心 昼 買 曜	會 元 作 新 長 麥 來	海 言 算 親 鳥 半 里	繪 原 止 囃 朝 番 理	外 戶 市 數 直 父 話	角 古 矢 西 通 風	榮 午 姉 声 弟 分 字	活 後 思 星 店 聞	間 語 紙 晴 点 米	丸 工 寺 切 電 步	岩 公 自 雪 刀 母	顏 広 時 船 冬 方	汽 交 室 練 当 北
第三学年	悉 漢 決 写 植 炭 童 福 旅	安 館 研 者 申 短 農 物 兩	暗 岸 渠 主 身 談 波 平 綠	医 起 庫 守 神 着 配 返 礼	委 期 湖 取 真 注 倍 勉 列	意 客 向 酒 深 柱 箱 放 練	育 究 幸 受 進 丁 畑 味 路	員 急 港 州 世 帳 発 命 和	院 級 号 拾 整 調 反 面	飲 宮 根 終 昔 追 坂 問 字	運 球 祭 習 全 定 板 役	泳 去 皿 集 相 庭 皮 菓	馱 橋 仕 住 送 笛 悲 由	央 業 死 重 想 鉄 美 油	横 曲 使 宿 息 転 鼻 有	屋 局 始 所 速 都 筆 遊	温 銀 指 暑 族 度 氷 予	化 区 齒 助 他 投 表 羊	荷 苦 詩 昭 打 豆 秒 洋	界 具 次 消 対 島 病 葉	開 君 事 商 待 湯 品 陽	階 係 持 章 代 登 負 様	寒 軽 式 勝 第 等 部 落	感 血 実 乘 題 動 服 流
第四学年	愛 覚 極 埵 順 然 灯 副 量	案 渴 熊 材 初 争 働 兵 輪	以 完 訓 崎 松 倉 特 別 類	衣 官 軍 昨 笑 菓 徳 辺 令	位 管 郡 札 唱 束 枋 変 冷	茨 関 群 刷 焼 側 奈 便 例	印 観 徑 察 照 続 梨 包 連	英 願 景 参 城 卒 熱 法 老	栄 岐 芸 産 繩 孫 念 望 勞	媛 希 欠 散 臣 帶 敗 牧 録	塩 季 結 残 信 隊 梅 末	岡 旗 建 氏 井 達 博 満 字	億 器 健 司 成 單 阪 未	加 機 験 試 省 置 飯 民	果 議 固 児 清 仲 飛 無	貨 求 功 治 静 沖 必 約	課 泣 好 滋 席 兆 票 勇	芽 給 香 辞 積 低 標 要	賀 拳 候 鹿 折 底 不 養	改 漁 康 失 節 の 夫 浴	械 共 佐 借 説 典 付 利	害 協 差 種 浅 伝 府 陸	街 鏡 菜 周 戦 徒 阜 良	各 競 最 祝 選 努 富 料
第五学年	圧 刊 件 際 述 設 統 復 歴	困 幹 陰 在 術 絶 堂 複	移 慣 檢 財 準 祖 銅 仏 字	因 眼 限 罪 序 素 導 粉	永 紀 現 殺 招 総 得 編	菅 基 減 雜 証 造 毒 弁	衛 寄 故 酸 象 像 独 保	易 規 個 賛 賞 増 任 墓	益 喜 護 士 条 則 燃 報	液 技 効 支 状 測 能 豊	演 義 厚 史 常 属 破 防	応 逆 耕 志 情 率 犯 買	桜 旧 鉞 師 職 貸 版 脈	可 救 構 資 制 態 比 務	仮 居 興 飼 性 団 肥 夢	価 許 講 示 政 断 非 迷	河 境 告 似 勢 築 費 綿	過 均 混 識 精 貯 備 輸	快 禁 查 質 製 張 評 余	解 句 再 舍 税 停 貧 容	格 型 災 謝 責 提 布 略	確 経 妻 授 績 程 婦 留	額 潔 採 修 接 適 武 領	
第六学年	胃 疑 皇 尺 推 宅 認 亡	異 吸 紅 若 寸 担 納 忘	遺 供 降 樹 盛 探 腦 棒	域 胸 鋼 収 聖 誕 派 枚	宇 郷 刻 宗 誠 段 拝 幕	映 勤 穀 就 舌 暖 背 密	延 筋 骨 衆 宣 值 肺 盟	沿 系 困 從 専 宙 俳 模	恩 敬 砂 縦 泉 忠 班 訳	我 警 座 縮 洗 著 晚 郵	灰 劇 濟 熟 染 片 否 優	拈 激 裁 純 銭 頂 批 預	革 穴 策 処 善 賜 秘 幼	閣 券 冊 署 奏 潮 俵 欲	割 絹 蚕 諸 窓 賃 腹 翌	株 権 至 除 創 痛 奮 乱	干 憲 私 承 装 敵 並 卵	卷 源 姿 将 層 展 陛 覽	看 敵 視 傷 操 討 閉 裏	簡 己 詞 障 蔵 党 片 律	危 呼 誌 蒸 臍 糖 補 臨	机 誤 磁 針 存 届 暮 朗	揮 后 射 仁 尊 難 宝 論	貴 孝 捨 垂 退 乳 訪

【小学校算数：6年間の学習内容】

	数と計算	量と測定	図形	数量関係
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・2桁の数、簡単な3桁の数 ・1桁や簡単な2桁のたし算、ひき算 	<ul style="list-style-type: none"> ・形の特徴 ・形づくり、分解 ・ものの位置 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さくらべ、広さくらべ、かさくらべ ・時刻の読み方 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・3桁の数、4桁の数、1万 ・2桁や簡単な3桁のたし算、ひき算 ・九九 ・簡単な2桁のかけ算 ・簡単な分数 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形、四角形 ・正方形、長方形、直角三角形 ・箱の形 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さ、かさの単位 (mm, cm, m, mL, dL, L) ・時間の単位(日、時、分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な表 ・簡単なグラフ
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・万の単位、1億 ・小数(1/10の位)、分数 ・3桁の数、4桁の数のたし算、ひき算 ・2桁の数、3桁の数のかけ算 ・1桁の数のわり算 ・小数(1/10の位)のたし算、ひき算 ・簡単な分数のたし算、ひき算 ・計算の工夫やたしかめ ・そろばん 	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形、正三角形 ・円、球 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さ、重さの単位 (km, g, kg) ・時間の単位(秒) ・時刻と時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・表 ・棒グラフ
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・億、兆の単位 ・分数の大きさ ・2桁の数などによるわり算 ・小数(1/100の位)のたし算、ひき算 ・小数のかけ算、わり算 (小数×整数、小数÷整数) ・同分母分数のたし算、ひき算 ・交換法則・結合法則・分配法則 ・計算の工夫やたしかめ ・そろばん 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形、ひし形、台形 ・立方体、直方体 ・直方体の見取図、展開図 ・角の大きさ ・正方形、長方形の面積 ・ものの位置の表し方 	<ul style="list-style-type: none"> ・表や式、折れ線グラフ ・簡単な割合 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元の表 ・折れ線グラフ
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・偶数、奇数、倍数、約数 ・小数のかけ算、わり算 (小数×小数、小数÷小数) ・異分母分数のたし算、ひき算 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形、正多角形 ・三角形、四角形の内角の和 ・直径と円周・角柱、円柱 ・合同な図形 ・柱体の見取図、展開図 ・三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積 ・立方体、直方体の体積 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な比例関係 ・単位量当たりの大きさ ・割合、百分率 	<ul style="list-style-type: none"> ・円グラフや帯グラフ ・測定値の平均
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・分数のかけ算、わり算 ・文字(a, x)などを用いた式 	<ul style="list-style-type: none"> ・対称な図形 ・縮図や拡大図 ・円の面積 ・角柱、円柱の体積 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例の関係 ・反比例の関係 ・比 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表値 ・ドットプロット ・度数分布 ・場合の数

【ローマ字表】

大文字 ／ 小文字	だん ア段	だん イ段	だん ウ段	だん エ段	だん オ段			
	A/a	I/i	U/u	E/e	O/o			
ア 行	あ a	い i	う u	え e	お o			
カ 行	か K/k ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
サ 行	さ S/s sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ sya [sha]	しゅ syu [shu]	しょ syo [sho]
タ 行	た T/t ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tya [cha]	ちゅ tyu [chu]	ちょ tyo [cho]
ナ 行	な N/n na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
ハ 行	は H/h ha	ひ hi	ふ hu [fu]	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
マ 行	ま M/m ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
ヤ 行	や Y/y ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo			
ラ 行	ら R/r ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
ワ 行	わ W/w wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を* (o) [wo]			
ン	ん* n							
ガ 行	が G/g ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
ザ 行	ざ Z/z za	じ zi [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya [ja]	じゅ zyu [ju]	じょ zyo [jo]
ダ 行	だ D/d da	ぢ* (zi) [di]	づ* (zu) [du]	で de	ど do	ぢゃ* (zya) [dya]	ぢゅ* (zyu) [dyu]	ぢょ* (zyo) [dyo]
バ 行	ば B/b ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
パ 行	ぱ P/p pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo

[] 中の書き方も使うことができる。()は重ねて出しているもの。

※ コンピューターに文字を入力するときは、次のように打ちます。

を→wo ん→nn ぢ→di づ→du ぢゃ→dya ぢゅ→dyu ぢょ→dyo